

ハイブリッド型浸透性躯体強化材

P-WPLUS

(ピーセブンプラス)





COMPANY:





CONTACT US:

- 東京都千代田区岩本町1-8-16
- 03-3861-9081
- 03-3861-9082
- http://www.pioneer-kagaku.com/
- info@pioneer-kagaku.com

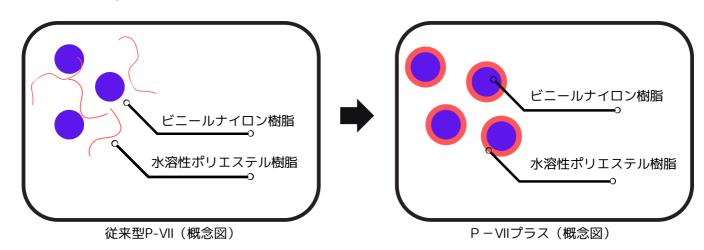
水性一液性浸透性躯体強化材P-VII+(ピーセブンプラス)とは

P-VIIプラスは、ハイブリットナノテクノロジーと化学反応を活用して開発された材料です この材料は主に脆弱化したコンクリートやモルタルなどの建築物や構造物の修復や強化に使用出来ます P-VIIプラスは、従来の製品と比べ浸透速度が約1.8倍に向上しており、そのため脆弱箇所の特定を より早く行えます

さらに躯体の強化は従来品に比べ約1.5倍に向上しました

このP-VIIプラスは、建築物の耐久性と強度を向上させるために非常に有効です

ハイブリッドナノテクノロジー型PーVIIプラスのメカニズム



従来型のP-VIIIは樹脂が分離し均等が保たれない為性能に偏りが出やすい
ハイブリッド型にする事で性能の均等化に加えて躯体の浸透を助け、浸透の役目を終えると乾燥時に
ビニールナイロン樹脂の接着材として変化しビニールナイロン樹脂が躯体同士を強力結合
さらに特殊配合のケイ酸ナトリウムが微細なクラックに浸透し欠損部を化学反応により強固にします

特徵

- ●脆弱なコングリートやモルタルに素早く浸透する性質を備えています
- ●浸透速度が速いため、足りない箇所と十分な箇所を簡単に区別出来ます
- ●水性一液性で匂いもなく希釈する必要もありません
- P VIIプラスの上に直接セメントやモルタルを施工出来ます
- ●微細なクラックを見つけ出し化学反応によりナノレベルで強化します。
- ●混合時にP−VIIプラスを加えると強化と作業性が向上します

用途

- ●雨打たれや凍害・ドライアウトによる構造体の強化
- ●高温時期における養生のために攪拌時に混合し遅延効果
- ●SL材の硬化不良に対する構造体の補強
- ●経年劣化や中性化が進行した場合の構造体の補強
- ●SL材使用した際の吹き上がり防止効果
- ●工場や倉庫などの防塵対策
- ●土壁や大谷石の補修時の躯体強化

使用方法

- ●必ず原液で使用してください(200~500 g /㎡)
- ●レイタンス層・ホコリなどは除去し清掃してください
- ●清掃後ジョーロやヒシャクなどで散布してください(夏に打ち水をする感覚で)
- ●施工後5~10分後に材料がない場合は追加してください(躯体が欲しがっています)
- ●20分経っても残っている場合はレーキやウールローラーなどで他の場所へ広げてください。
- ●養生時間5時間以上(25℃時・塗布量や気温で変化します)
- 表面のゴミなどを清掃 必要に応じてワイヤーカップ処理

ジョーロやヒシャクなどで散布

オ料が残っている場合ウールローラーや 刷毛・モップなどで少ない箇所へ広げます



施工上の注意

- ●降雨時や降雨前後の屋外施工や躯体が0℃以下の施工は避けてください
- ●高温時の遅延材としてご使用時は追加を早く、もしくは多めに撒いてください

塗布量·標準施工面積

標準塗布量: 200~500 g/㎡ 標準施工面積: 32~80㎡/缶

容量・荷姿 プラペール缶 16Kg入り





P → VIIプラス物性・性能データ

	成分	ハイブリッド型ビニールナイロン・ポリエステル樹脂特殊ケイ酸系重合体		
100	外観	乳白色(乾燥後半透明)		
	粘度	100∼180mPa • S		
	比重	1.11		
	粒子径	約4.5nm(ナノメートル)		
	PH	約8.5		

●耐摩耗性

	300回転	600回転	900回転
無処理	2.2 g	3.8 g	7.5 g
P-VIIプラス施工面	0.2 g	0.4 g	0.9 g

テーパー式摩耗試験機(荷重1Kg)

●接着強度

	モルタル	エポキシ	FRP	無溶剤型ウレタン接着剤
無処理	0.55N/mm²	0.61N/mm²	0.66N/mm²	0.43N/mm²
P-VIIプラス施工面	1.5N/mm²	1.63N/mm²	1.69N/mm²	1.12N/mm²

建研式引っ張り試験機(4箇所測定平均・有機系材料はプライマーより施工・接着剤はそのままアタッチメント接着)

取扱上の注意

保管温度は5℃以上40℃以下で保管してください

直射日光を避けて、常温で保管してください

落下・破損がないように、荷崩れ防止などの配慮をしてください

河川・側溝などに絶対に破棄せず、産業廃棄物として各自治体の規定に沿って処分してください

安全上の注意

目・皮膚などの接触を防止するために、保護メガネ・保護手袋など着用してください 目に入った場合は、清水で数分間洗浄し直ちに医師の診断を受けてください 皮膚に付着した場合肌荒れを起こす事がありますので直ちに水洗いをしてください 誤って飲み込んだ場合は大量の水を飲み吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください

詳細な内容につきましては製品安全データシート(SDS)をご参照ください 記載内容は製品改良などにより、断りなく仕様変更をする場合がありますのでご了承ください

